

目 次

I. 総括研究報告

強皮症・皮膚線維化疾患の診断基準・重症度分類・診療ガイドライン・ 疾患レジストリに関する研究	-----	1
研究代表者：藤本 学		
研究分担者：浅野善英、植田郁子、沖山奈緒子、川口鎮司、熊ノ郷淳、 桑名正隆、後藤大輔、神人正寿、高橋裕樹、長谷川稔、波多野将、 濱口儒人、牧野雄成、茂木精一郎、山本俊幸		
研究協力者：磯村洋平、金谷泰宏、金子詩子、嶋 良仁、清水正樹、田中住明、 牧 尚孝、松下貴史、宮前多佳子、麦井直樹、安岡秀剛、吉崎 歩		
(資料) 1 特定疾患治療研究事業における臨床調査個人票を用いた調査		
2 小児期発症全身性強皮症 全国疫学調査		
3 小児期発症限局性強皮症 全国疫学調査		
4 全身性強皮症診療ガイドライン(2023年版 [予定])		
5 平成28年に策定した限局性強皮症・好酸球性筋膜炎・硬化性萎縮性苔癬 診断基準・重症度分類・診療ガイドラインの研究班班員所属施設および 関連病院に対するアンケート調査結果		

II. 分担研究報告

1. 全身性強皮症診療ガイドライン 血管病変の改訂作業	-----	164
研究分担者：浅野善英、神人正寿		
2. 自己免疫反応を基盤とした皮膚線維化機構に関する研究	-----	167
研究分担者：沖山奈緒子		
3. 全身性強皮症の診療指針・腎病変に関する研究	-----	170
研究分担者：川口鎮司		
研究協力者：田中住明、松枝 佑、樋口智昭		
4. 使い捨てカイロを用いた全身性強皮症のレイノー現象緩和効果に 関する研究(多施設検証の結果)	-----	179
研究分担者：熊ノ郷淳		
研究協力者：嶋 良仁		
5. 全身性強皮症での定期的肺動脈性肺高血圧症スクリーニングの 意義に関する研究	-----	181
研究分担者：桑名正隆		
研究協力者：白井悠一郎		
(資料) 表1 スクリーニング回ごとのPH/PAH診断頻度		
表2 初回スクリーニングでPH非診断例におけるPH発症の予測因子		
6. 全身性強皮症における消化管病変診療ガイドライン改訂に 関する研究	-----	185
研究分担者：後藤大輔		
研究協力者：安岡秀剛		
7. 全身性強皮症の骨粗鬆症に対する治療介入の有用性に関する研究	-----	197
研究分担者：高橋裕樹		
研究協力者：鈴木知佐子		

8.	多施設共同による全身性強皮症の臨床像、自然経過、進行予測、 治療反応性の解析	-----	199
	研究分担者：長谷川稔、浅野善英、植田郁子、沖山奈緒子、川口鎮司、 熊ノ郷淳、桑名正隆、後藤大輔、神人正寿、高橋裕樹、 波多野将、濱口儒人、牧野雄成、茂木精一郎、山本俊幸		
	研究協力者：松下貴史、金谷泰宏、嶋 良仁、安岡秀剛、田中住明、 麦井直樹		
	研究代表者：藤本 学		
	(資料) 図1 手指屈曲距離の測定		
	表1 4年後のmRSSと相関する因子		
	表2 4年後の%VCと相関する因子		
	表3 4年後のHAQ-DIと相関する因子		
	表4 4年以内の手指潰瘍の出現と相関する因子		
9.	小児期発症全身性強皮症、限局性強皮症の全国疫学調査 3	-----	204
	研究分担者：濱口儒人、川口鎮司、浅野善英、植田郁子		
	研究協力者：宮前多佳子、金子詩子、清水正樹		
	研究代表者：藤本 学		
	(資料) 図1 限局性強皮症の臨床的特徴		
	表1 推定患者数と推定年間罹患数		
	表2 小児期発症全身性強皮症患者132例の臨床的特徴		
	表3 小児期発症全身性強皮症患者132例の治療のまとめ		
	表4 小児限局性強皮症患者315例の疫学的特徴		
	表5 小児期発症限局性強皮症患者315例の治療のまとめ		
10.	多施設患者登録システムによる、全身性強皮症の臨床像、自然経過、 進行予測、病因、治療反応性の解析	-----	213
	研究分担者：牧野雄成、長谷川稔		
	研究代表者：藤本 学		
11.	「全身性強皮症 診断基準・重症度分類・診療ガイドライン」における 「皮膚硬化」の改定に関する研究	-----	215
	研究分担者：茂木精一郎、山本俊幸		
	(資料) 図1 皮膚硬化の診療アルゴリズム		
III.	研究成果の刊行に関する一覧表	-----	229